長野県地域発元気づくり支援金事業

ＡＲＥＣ･Ｆｉｉプラザ
第 203 回リレー講演会　(IoT・AI 分野)

■日時：**平成 30 年７月 19 日（木）　14：00～17：00**
※終了後（17:00～）名刺交換交流会開催

■会場：**信州大学繊維学部内 AREC（上田市産学官連携施設４階）**

講演 1　　***14：00～15：00***

【演題】「人工知能による今後３０年の破壊的変化」

講師：富士通株式会社　オファリング推進本部　ＡＩ＆ＩｏＴオファリング統括部
オファリング企画部　部長　及川　洋光　氏

【概要】人類はこれまでに様々な革命を経験してきた。しかし、これから人類最大のパラダイムシフトが始まろうとしている。人工知能で２０２０年、２０３０年、２０４０年と、どのように人類が進化していくのかを紹介。また、２０１８年の時点での人工知能や最先端テクノロジーで、どんなことが出来るのかを具体的なデモで紹介する。

講演 2　　***15：00～16：00***

【演題】「日本最大のＡＩインテグレーターを目指して」

講師：富士ソフト株式会社　執行役員　イノベーション統括部　統括部長　八木　聡之　氏

【概要】富士ソフトがコミュニケーションロボットの開発に合わせてＡＩ研究を始めて約１０年。システムインテグレータとして基礎研究中心の活動からＡＩコンサルティングを交えて企業にＡＩ技術を導入していくまでの過程や苦労話をご説明します。また富士ソフト以外の企業との取り組みとして、日本ディープラーニング協会（ＪＤＬＡ）における産業促進活動のご説明や、ＡＩベンチャーとの協業に向けた活動に関するご説明、さらには社内で実施しているＡＩ人材の教育についてもご説明させて頂くことで、ＡＲＥＣにご参加頂いている企業の方々にとって、今後のＡＩ活用のヒントにして頂ければ幸いです。

休　憩

講演 3　　***16：00～17：00***

【演題】「ＡＩなんて、こわくない」

講師：信州大学工学部　電子情報システム工学科　教授　香山　瑞恵　氏

【概要】狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会の変化を経験した人は、社会のコンピュータシステムの進化に対応して、様々な課題や労務を機械とコンピュータへ託してきました。この仕組みは、今後、ＡＩと共に大きく変わっていきます。今こそ、ＡＩの本質を理解し、これからの社会変化に柔軟に対応する準備をする時です。ご一緒にＡＩのことを学びましょう。まず、ＡＩでできること・できないことを、その歴史的変化から概観しつつ、身の回りのＡＩの裏側をご紹介していきます。そこには、ＩｏＴが深く関わっています。その上で、近年提案されたキラーテクニック：ディープラーニングの特徴を整理して、今後の技術変化の方向性を探ってみたいと思います。

●お申し込み先　ＡＲＥＣ･Ｆｉｉプラザ事務局 宛
電話（0268-21-4377）　メール（mousikomi@arecplaza.jp）　FAX（0268-21-4382）
下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

ＡＲＥＣ･Ｆｉｉプラザ 第 203 回リレー講演会 参加申込書			（平成 30 年 7 月 19 日）
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職		電話番号	
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ		ﾌｧｯｸｽ番号	

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません